

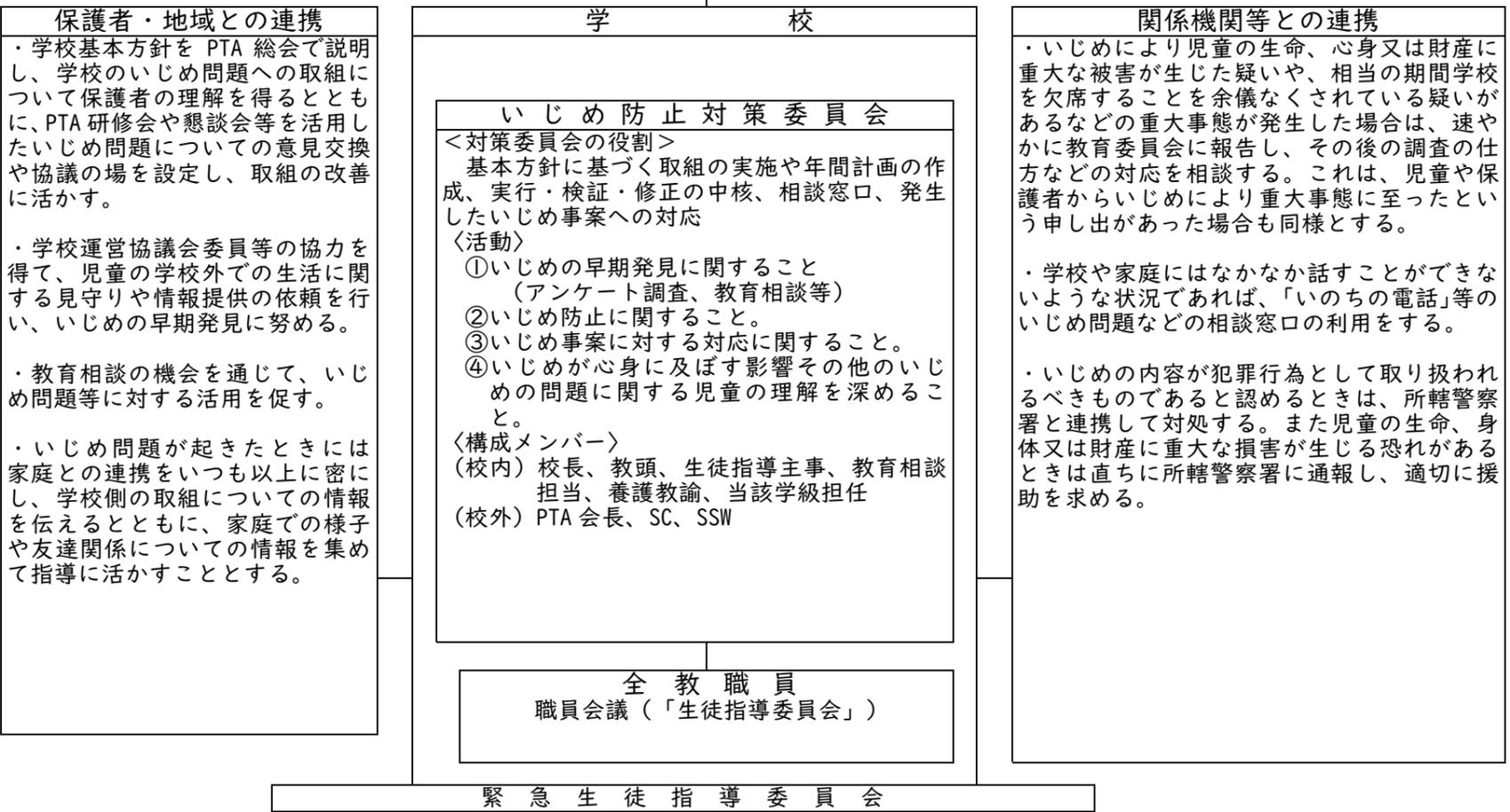
いじめに関する現状と課題

本校の児童は、明るく元気で、休み時間には多くの児童が学年を問わず仲良く遊ぶことができる。また、素直で思いやりのある児童が多い。一方、何気なく友達をあだ名で呼んだり、乱暴な言葉遣いをしたりするなど、人権感覚が十分に育っていないと感じられる一面もある。自分の思いを適切に伝えることができず、人間関係を円滑に築きにくい児童もいる。本校のいじめに関する現状としては、昨年度は4件の事案を認知している。そのうち3件は3ヶ月経過のち解消とした。また、いじめとまでは認識されてなくても、善悪の判断が甘くなり、いじめへの前兆と考えられる事態が時々起こることが課題である。GIGAスクール構想に伴いタブレットPCを家庭で使用するが増えた。また、スマートホン・タブレット等を使用している児童もいる。今後、SNSによるトラブルや、ネットいじめなども懸念されることから、児童の実態把握に努め、問題の未然防止と家庭と連携した対応が求められる。

1. いじめ問題への対策の基本的な考え方

全ての職員が「いじめは、どの学校・どの学級でも起こりうるものであり、いじめ問題に全く無関係ですむ児童はいない。」という基本認識に立ち、全校の児童が「いじめのない明るく楽しい学校生活」を送ることができるようにいじめ防止への取組を行う。

- 〈重点となる取組〉
①いじめを許さない、見過ごさない雰囲気づくりに努める。
②児童一人一人の自己有用感を高め、自尊感情を育む教育活動を推進する。
③いじめの早期発見のために、様々な手段を講じる。
④いじめの早期解決のために、当該児童の安全を保障するとともに、学校内だけでなく各種団体や専門家と協力をして解決にあたる。
⑤学校と家庭が協力して、事後指導にあたる。
⑥児童のインターネットや携帯電話等の利用実態を踏まえ、児童の発達段階に応じて、情報モラルに関する授業を実施する。



学校が実施する取組

Table with 2 columns: Strategy Name and Description. Strategies include: ①いじめの防止 (Prevention), ②早期発見 (Early Detection), and ③いじめへの対応 (Response to Bullying). Each strategy includes specific implementation steps and goals.

内容	職員会議・対策委員会等	学校が実施する取組		
		①いじめ防止の取組	②早期発見の取組	③いじめへの対処
4月	○職員会議 ・いじめ防止基本方針の確認 ○校内研修 ・児童の実態の情報共有 ○学校運営協議会	○学級づくり ○縦割り班活動 ○いじめ防止基本方針を保護者へ周知（PTA総会）	○学級づくり・縦割り班づくり ○家庭訪問 ○いじめアンケートの実施	○発生事案への対処（随時）
5月	○職員会議 ・生徒指導に関する情報共有	○縦割り班活動（1年生歓迎遠足）	○集団アセスメント（QU）実施 ○生活アンケートの実施 ○担任による教育相談（アンケートをもとに） ○いじめアンケートの実施	○アンケート結果の検討（必要に応じて対応）
6月	○職員会議 ・生徒指導に関する情報共有	○人権について考える ・人権標語 ・いじめに関する目標等 ○人権ポスターの取組	○いじめアンケートの実施 ○教育相談（保護者）	
7月	○職員会議 ・生徒指導に関する情報共有		○保護者個人懇談 ○教育相談（保護者） ○いじめアンケートの実施	
8月	○職員研修（人権について） ○職員会議 ・生徒指導に関する情報共有		○いじめアンケートの実施	
9月	○職員会議 ・生徒指導に関する情報共有		○いじめアンケートの実施	
10月	○職員会議 ・生徒指導に関する情報共有		○生活アンケートの実施 ○担任による教育相談（アンケートをもとに） ○いじめアンケートの実施 ○教育相談（保護者）	○アンケート結果の検討（必要に応じて対応）
11月	○職員会議 ・生徒指導に関する情報共有		○集団アセスメント（QU）実施 ○保護者アンケート ○いじめアンケートの実施 ○教育相談（保護者）	
12月	○職員会議 ・生徒指導に関する情報共有	○人権週間の取組 ・人権作文・標語 ・人権参観日 ・人権集会 ・人権標語	○いじめアンケートの実施	
1月	○職員会議 ・生徒指導に関する情報共有		○いじめアンケートの実施	
2月	○職員会議 ・生徒指導に関する情報共有 ○学校運営協議会 ・1年間の取組の反省		○いじめアンケートの実施 ○教育相談（保護者）	
3月	○職員会議 ・生徒指導に関する情報共有 ・いじめ防止基本方針の修正		○いじめアンケートの実施 ○教育相談（保護者）	